

**令和4年度
福島県地域創生総合支援事業
（サポート事業）
県南地方実績報告書**

福島県県南地方振興局

■ 一般枠

- ① 里山で出来る SDGs 発信事業（しらかわ里山ネット）〔白河市〕
- ② 農産物産館まるごと西郷館を核とした賑わい元気を創出する拠点づくり振興事業
（道の駅にしごう出荷者等準備推進委員会）〔西郷村〕
- ③ RAKUEN de Marche（中島村から元気を発信する会）〔中島村〕
- ④ 風月の芸術祭 in 白河（風月の芸術祭実行委員会）〔白河市〕
- ⑤ しらかわ産品販売促進事業（しらかわ産品販売促進協議会）〔白河市〕
- ⑥ 白河フードフェス 2022（白河フードフェス実行委員会）〔白河市〕
- ⑦ 文学による人づくりまちづくり事業（中山義秀顕彰会）〔白河市〕
- ⑧ 福島県南で「むすぶ」（むすぶ）〔白河市〕
- ⑨ 若者地元就職促進・マッチング創出事業（ふくしま県南地元企業説明会実行委員会）〔白河市〕
- ⑩ しらかわ地域文化継承事業（白河まつり振興会）〔白河市〕
- ⑪ 子育て世代の働き方改革スタートアップ交流事業（特定非営利活動法人わくわく）〔西郷村〕
- ⑫ スポーツの力で地域ブランディング（公益社団法人白河青年会議所財政室）〔白河市〕
- ⑬ リノベーション@本町キタウラ事業（しらかわ本町未来研究所）〔白河市〕
- ⑭ しらかわにぎわいプロジェクト（しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会）〔白河市〕
- ⑮ ふくしまの城・城址巡り「白河小峰城」（福島県城下町連絡協議会）〔白河市〕
- ⑯ NANKO WORK PROJECT -渋沢栄一×松平定信 南湖を彩る系譜-
（南湖公園魅力発信事業実行委員会）〔白河市〕
- ⑰ ドライブスルー白河マルシェ（公益財団法人白河観光物産協会）〔白河市〕

- ⑱ 白河“オンライン”だるま市開催事業（白河だるま事業協同組合）〔白河市〕
- ⑲ 翔んで 白河の関（青空バル実行委員会）〔西郷村〕
- ⑳ 地元プロゴルファーによる「ふくしまゴルフプロジェクト」応援・支援事業
(福島県プロゴルフ会)〔西郷村〕
- ㉑ 若者たちと考える。6次化商品の開発・PR販売事業（矢吹町バンド連合会）〔矢吹町〕
- ㉒ ジュニアゴルフ育成による大信地域活性化事業（大信をゴルフで元気にする会）〔白河市〕
- ㉓ まちの事業者魅力発信事業（たなぐら商工業魅力発信実行委員会）〔棚倉町〕
- ㉔ Fukushima348（みよや）まあるい旅奥州玄関口編（一般社団法人ニワトコ）〔棚倉町〕
- ㉕ 横浜 Heart 矢祭～つなぐ・つながる・つながろう～(横浜 Heart 矢祭プロジェクト実行委員会)〔矢祭町〕
- ㉖ 矢祭町の「和ハーブ」の認知活動とブランド化による地域活性化活動(矢祭和ハーブ部会)〔矢祭町〕
- ㉗ 埴町観光協会オンライン魅力発信事業(一般社団法人埴町観光協会)〔埴町〕
- ㉘ 町内空き家を活用した多世代の場づくり(一般社団法人アップサイクル)〔埴町〕
- ㉙ 魅力発見！はなわ選べる体験型宿泊ツアー(埴町観光誘客活性化実行委員会)〔埴町〕
- ㉚ 「学習障害の子どもたちの野原君キャンプ」人にやさしい村づくり事業
(あぶくまエヌエスネット)〔鮫川村〕

■市町村枠

- ③① 持続可能な地域づくり推進事業（西郷村）〔西郷村〕
- ③② 棚倉町魅力向上事業（棚倉町）〔棚倉町〕
- ③③ 自転車のある風景－サイクリストと歩行者が共生する町はなわ－（埴町）〔埴町〕
- ③④ 定住自立圏 ご縁から移住へプロジェクト（「ふれあいの場」創出事業実行委員会）〔県南 9 市町村〕
- ③⑤ みんなでつくる奥久慈街道ブランド魅カアップ・プロジェクト
(東白川サイクリング推進会議)〔東白川郡 4 町村〕
- ③⑥ しらかわ産業活性化・復興支援事業（白河市）〔白河市〕
- ③⑦ 美しい村づくりステージアップ事業（鮫川村）〔鮫川村〕
- ③⑧ アジアンインバウンド誘致事業（ふくしま県南観光推進協議会）〔県南 9 市町村〕

■旧健康枠

- ③⑨ にしごう健幸づくり事業（西郷村）〔西郷村〕
- ④⑩ お年寄り健康・生きがいづくり推進事業（矢吹町）〔矢吹町〕

■過疎・中山間地域活性化枠（収益事業（スタートアップ事業））

- ④⑪ 和紙の原料「コウゾ」の葉を活用した地域活性化事業（旅の書会）〔鮫川村〕

(1)里山で出来る SDGs発信事業

一般枠

新規

【実施団体名】 しらかわ里山ネット（白河市）

事業の目的

森林等が持つ多面的な機能の活用を図るため里山整備を進め、県内外の人々を里山に呼び込むとともに、事業を通してSDGsを学び実行し啓蒙活動に取り組むことで、里山と人との繋がりや地域資源の重要性を感じ、地域間交流や郷土愛の醸成につなげていく。

事業の内容

事業内容：

- 子供たちと学ぶSDGsの開催⇒R4/7/31 於：来る里の杜
- 里山スタンプラリー開催⇒R4/4/1～R4/11/30まで
- 里山フォトコンテスト開催⇒応募期間 R4/12/20～R5/1/31まで
展示会及び表彰式 R5/2/24～R5/2/26（棚倉町文化センター）

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	1,332
補助金	-	-	756

<子供たちと学ぶSDGs>



<里山フォトコンテスト入賞者表彰式>



事業の成果・効果

- 「里山歩きガイドBOOK」3,000部が、各会員に配布と共に品切れとなり、同じく「里山スタンプラリー」台紙2,000枚も各会員里山で不足を来たすなど、里山に対する関心の高まりが見られた。

今後の展開等

- 年間を通して交流人口増えるよう、それぞれの里山が持っている良いところをもっとPRしていきたい。
- 新たな仕掛けを考えていきたい。

(2) 農産物産館まるごと西郷館を核とした賑わい元気を創出する拠点づくり振興事業

一般枠

【実施団体名】 道の駅にしごう出荷者等準備推進委員会（西郷村）

新規

農業等産業従事者の高齢化や後継者不足が進むなか、村の産業を荒廃させないため、農産物産館まるごと西郷館を中心にイベントを開催するほか、シンポジウムや勉強会を実施し、担い手の育成や所得向上を図る。

<にしごう軽トラ市>



事業の内容

事業内容：

- フットパス関連推進事業
フットパスと農産物の収穫体験をあわせた都市住民との交流促進
- 大軽トラ市・花市
農産物大軽トラ市の開催による、地場産商品の磨き上げ
- にしごうまるごと春祭り
若い世代へのPRのため、家族層向けのアトラクションを中心に実施

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	3,715
補助金	-	-	2,472

<にしごうフットパス体験等実証事業>



事業の成果・効果

- 委員会委員同士の横の連携推進が図られている。（甲子・新甲子温泉旅館における宿泊者のまるごと西郷館への誘導PRやフットパス事業のまるごと西郷館利用促進、委員同士の加工品開発等に係る情報交換、特産品開発への意欲向上が図られている。）
- まるごと西郷館の出荷者や来館者も増えていて、今後の発展が期待される情勢となっている。

今後の展開等

- 各構成委員が主体となって実施している事業について、他委員の事業展開と相乗効果が図られるイベント等の実施を通して、地域全体で活性化に取り組む意識醸成を図ることを目的としたイベントを開催していく。

(3) RAKUEN de Marche

一般枠

新規

【実施団体名】 中島村から元気を発信する会（中島村）

事業の目的

認知度が低く魅力が少ない中島村の現状を打破するため、県南地域の店舗と協力し合い、県民に向け中島村の魅力を発信して関心を高め、雇用、起業、定住の推進を図る。

事業の内容

事業内容：

- 中島村でマルシェ開催
令和4年7月18日(祝)@ (株) 楽縁 遊歩道
- 中島村の見どころマップ作成
- 中島村のPR 動画作成

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	2,727
補助金	-	-	1,310

<マルシェ>



<マルシェ>



事業の成果・効果

- マルシェの集客が成功、各ブースに盛り上がりいわきや会津など遠方からも来場があり、広告宣伝も成功した。
- 集客が成功したことで見どころマップを配布できる人数が増えるとともに、マルシェで獲得したSNSのフォロワーに動画の公開をお知らせすることが出来た。

今後の展開等

- 各構成委員が主体となって実施している事業について、他委員の事業展開と相乗効果が図られるイベント等の実施を通して、地域全体で活性化に取り組む意識醸成を図ることを目的としたイベントを開催していく。

(4)風月の芸術祭 in 白河

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 風月の芸術祭実行委員会(白河市)

事業の目的

地域の文化力向上、中心市街地活性化及び交流人口拡大を図るため、白河藩主松平定信の雅号「風月」をテーマに掲げ、市内の史跡名勝や歴史的建造物史跡、空き店舗等を舞台に、国際的なアーティストによる創作・鑑賞・体験等を行う芸術祭を開催する。

事業の内容

事業内容：

- 風月の芸術祭の開催（隔年開催）
「境」～Borderless～をキーワードに、白河市の歴史、文化を基盤として、国際的なアーティストによる多種多様な現代アート作品を展示したほか、講演会やアニメーション上映会などのイベント、また小中高校生を対象としたワークショップを開催した

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	6,266	-	10,776
補助金	2,685	-	4,898

<主な作品と各種ワークショップ>



<小松美羽ライブペインティング>



事業の成果・効果

- 今回参加いただいたアーティストのうち約30名が実際に白河を訪れ、各々SNS等で白河市の情報発信や、芸術祭のPRをしてくれた。
- 地元の小中高校生とワークショップをしてくれた講師の方々には、白河の歴史と伝統文化について下見や対話を重ね、それぞれ子供達と一緒に見事な作品を制作していただき、新たな視点から地域資源の魅力を知る機会となった。

今後の展開等

- 市民を対象に、「現代アートゼミナール」を企画したい。
- 芸術祭への理解を深め、アーティストや関係者と地元住民相互の信頼関係を構築し、協力体制を広げていきたい。

（5）しらかわ産品販売促進事業

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 しらかわ産品販売促進協議会（白河市）

事業の目的

県南地方では多くの地場産物が生産されているが、その販路拡大が大きな課題となっている。しかし、各事業者が単独で商品のPR・販売促進を図るには限界があり、より効果的に取り組む必要があるため、しらかわ地方の地場産物を「楽翁堂」のブランド名で、各商品をセットにして販売することにより、個々の商品の魅力をアップしてPR及び販売促進を図る。

事業の内容

事業内容：

- しらかわの地場産物の情報発信事業
 - ・ホームページの運営
 - ・各種物産展・展示会の出展
- しらかわの地場産物の販売促進事業
 - ・通販サイトの運営
 - ・各種ギフトセットの調製
- 地場産物を通じた地域の交流事業
 - ・地元企業訪問によるPR活動
 - ・しらかわ出身の県外在住者へのPR活動

総事業費：

（千円）	R2	R3	R4
事業費 （補助対象）	-	1,529	636
補助金	-	1,000	410

＜ 楽翁堂詰め合わせセット＞



＜ 楽翁堂お酒セット＞



事業の成果・効果

○白河市だけに拘らず、県南9市町村を対象としており、幅広い内容のセット商品ができるため、行政関係者からの注文が多かった。それにより、会員も積極的に会の運営に関わってくれるようになった。

今後の展開等

○県南9市町村の地場産物を行政・企業や地元住民の方々に協力していただき、楽翁堂ブランドだけでなく、観光資源など地域情報をPRすることにより、交流人口の増加を図りたい。

(6)白河フードフェス 2022

一般枠

【実施団体名】 白河フードフェス実行委員会（白河市）

継続2年目

事業の目的

白河市の多くの飲食店が、新型コロナウイルス感染症の影響で利用と売上げが大幅に落ち込んでいる。そこで、白河市内の飲食店の利用を促進させるために、お店を回り賞品が当たるスタンプラリーを実施することで、地域経済の活性化と交流人口創出につなげる。

事業の内容

事業内容：

- 「しらかわフードデジタルスタンプラリー2022」
 - ・白河市内（一部市外含む）の飲食店を巡るスタンプラリー
 - ・令和4年10月1日～11月30日の2ヶ月間実施

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	3,000 (2,970)	2,981
補助金	-	1,979	1,888

< チラシ表 >



< チラシ裏 >



事業の成果・効果

- 白河市内在住者だけでなく、郡山市や福島市などの利用者もいたため、飲食以外で観光地やレジャーを楽しんでいたことを想像すると、地域経済に貢献することができた。

今後の展開等

- 参加店の店頭で、イベントを目にする機会の増加を目指す
- 魅力ある賞品をそろえ、参加者を増やす。

(7)文学による人づくりまちづくり事業

一般枠

継続2年目

事業の目的

現在、白河市は文化芸術創造都市宣言をしているが、まだまだ文学への関心が低く創作活動が活発とは言い難い。地域住民の文学への関心を高め、創作活動を活発化させることで、地域全体の芸術活動の振興につなげていく。また、子どもから大人までの教養・文化の向上と文学による交流人口の創作に寄与し、大信地域を発展させていく。

事業の内容

事業内容：

- DVDの制作
- テーマ展の開催
- 文学講演会
- 文学解説講座
- 文学ウォーク
- 出前講座

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	1,830	2,164 (2,116)
補助金	-	1,220	1,361

< 文学ウォーク >



< 「義秀の愛した武具展」展 >



事業の成果・効果

- テーマ展のポスター・チラシを以前よりも多く制作することができたので広報が充実し、多くの来館者があった。
- 文学ウォークを実施し、あらためて中山義秀を偲ぶ機会とすることができた。

今後の展開等

- 中山義秀を紹介する漫画本を制作し、学校や図書館をはじめとする関係機関等に配布していく。
- 今年度効果のあった事業については、継続的に実施していく。

(8)福島県南で「むすぶ」

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 むすぶ(白河市)

事業の目的

白河市内をはじめとする福島県南地域には、風景や既存施設から特産品に至るまで、その価値が適正に評価されていないものが少なくない。本事業では、そうした地域資産の活用を「外部目線」で行うことで再評価されることを目指し、本事業で実施するイベントにより、地域ににぎわいが創出されることで、関係人口の拡大を図る。

事業の内容

事業内容：

- 地元産物を用いた卒業証書制作ワークショップの開催
白河市立小野田小学校6年生に、卒業証書の原紙となる和紙を本人に渡してもらおうワークショップ
- Higashi Coffee Sweets & Crafts の開催
県南中心に10以上の市町村の名産品、工芸品などを集めたイベント

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	439	696
補助金	-	292	446

< 卒業証書制作ワークショップ >



< Higashi Coffee Sweets & Crafts >



事業の成果・効果

- ワークショップを体験した生徒さん、HCSCの参加者アンケートなどからも、地域の良さ・資源を再認識できたという声が数多くあった。
- 県南地域の住民の方々のシビックプライドの醸成に微力ながらも貢献できたのではと感じる。

今後の展開等

- 次年度以降も引き続き活動を継続していきながら、「持続可能な活動」「ここでしか味わえない」をキーワードに取り組む。

(9)若者地元就職促進・マッチング創出事業

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 ふくしま県南地元企業説明会実行委員会(白河市)

事業の目的

福島県県南地域は、少子高齢化や若者の地域外流出による人口減少が続き、産業を支える労働力確保の点で大きな課題を抱えている。地域の将来を担う若者（県南地域の高校生対象）が地元企業を知る機会とマッチングの場を創出し、地元企業への就職促進を図る。

事業の内容

事業内容：

- 企業ガイドブックの作成
- 専用ホームページの作成・企業紹介動画の公開
- 集合対面による「地元企業説明会」の開催
- アンケート調査

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	568	2,300
補助金	-	356	1,420

< 専用ホームページ >



< 企業紹介ページ >



事業の成果・効果

- 参加予定だった企業が、新型コロナの影響で参加できなくなったり、新型コロナウイルス対策は非常に難しかったが、集合対面による「地元企業説明会」を開催することができた。

今後の展開等

- 企業ガイドブックの掲載内容の充実を図り、より学生に各企業の強みや良さを具体的に伝えられる様に工夫していく。
- OB との交流機会を提供する。

(10)しらかわ地域文化継承事業

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 白河まつり振興会(白河市)

事業の目的

コロナ禍でまつりが中止となり、伝統が途絶えかけているいま、改めてまつりについて紹介する機会を設けることで、歴史ある白河のまつりを後世に引き継ぐと共に、アフターコロナへ向けて白河のまつりの認知向上に努める。

事業の内容

事業内容：

- 企画展の開催
「白河関の踊り流し」「白河提灯まつり」「白河だるま市」の歴史や様子について、パネルなどを用いて紹介する企画展を開催した。
- 花火写真コンテストの実施
企画展の実施に併せ、今年度の市民納涼花火大会で撮影された写真を応募していただくコンテストを開催した。

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	644	1,011
補助金	-	304	463

< 企画展の様子 >



< 花火コンテスト白河市長賞・白河観光物産協会理事長賞 >



事業の成果・効果

- 企画展で紹介した「白河提灯まつり」及び「白河だるま市」が、令和4年度に久しぶりの開催をすることができ、どちらのイベントも多くの方で賑わった。
- 企画展開催中の10月中から、翌年2月のだるま市の開催に関する問い合わせが多くあったことから、企画展の開催をイベント当日の集客につなげることができた。

今後の展開等

- コロナ禍以降中止となっている白河関の踊り流しを開催し、市内外からの参加者及び来場者の誘致を一層図りたい。

(11)子育て世代の働き方改革スタートアップ交流事業

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 特定非営利活動法人わくわく(西郷村)

事業の目的

「子育てしながらの働き方」をテーマとして、年間を通して各種事業を展開することで、子育て世代が悩みを共有しながら、これからの働き方を身につけられる場所づくりを行う。

< 実践講習会 >



事業の内容

事業内容：

- ワークショップの開催
 - ・子育てや仕事と家事の両立についての相談や解決案を話し合う。
- ビジネス体験教室の開催
- ビジネスの創出に向けた先進事例の勉強会

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	1,220	2,016
補助金	-	810	1,305

< 参加者の皆さんと講師の方 >



事業の成果・効果

- 白河市内外の地域の団体の協力も受け、地域を巻き込んだ相談支援事業として成り立つことに成功した。
- 子育てと仕事の両立に悩む世代の方が悩みを打ち明け、励まし合う姿が見られ相乗的な効果に繋がり、具体的にマルシェ開催に向けて団体として必要なもの、参加する者としての心構えを話し合うことができた。

今後の展開等

- 今後も地域を巻き込みながら子育てと家事や仕事の両立に悩む子育て世代の支援を行う。
- わくわくマルシェ開催を実現したい。

(12)スポーツの力で地域ブランディング

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 公益社団法人白河青年会議所財政室(白河市)

事業の目的

地域子ども達がスポーツを通して諦めない姿勢、挑戦し続ける気持ちの大切さを学ぶ機会を創出し、既存チームの活動や学校、スポーツ施設等の活性を通して、地域や社会との関係性を深めることで、将来的に地域振興に寄与できる人材育成を図る。

事業の内容

事業内容：

- 体験型事業（ブラインドサッカー）の実施
- 相互理解についての勉強会の実施と広報
- 座学事業（ブラインドサッカー）の実施

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	2,312	1,500
補助金	-	1,080	999

< イベント当日の風景 >



< イベント後の講演会の風景 >



事業の成果・効果

- 参加された方から、「とても良い勉強になった」や「多くの友達を作ることができました」など好意的な言葉があった。
- 協力を受けた他団体などと交流する機会ともなり、来年度以降の協力体制の構築を図れた。

今後の展開等

- 来年度以降も、スポーツや講演会などを開催し、次代の人財の育成やまちづくりの事業を率先して行っていき、地域に根差した団体になりたい。

(13)リノベーション@本町キタウラ事業

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 しらかわ本町未来研究所（白河市）

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、町全体の閉塞感や個人同士のつながりが希薄になっていることに加え、高齢化等により地域で活動する担い手が不足しています。

これからの地域の活動の担い手となる学生（中・高校生および大学生）と共に事業を実施することにより、若い世代と地域の大人とのつながりや新しいコミュニティの形成に役立てていく。

事業の内容

事業内容：

- 公園整備（モニュメント作製、イルミネーション設置）
- SNSの活用
- 街なかマップの作製
- モルックの普及

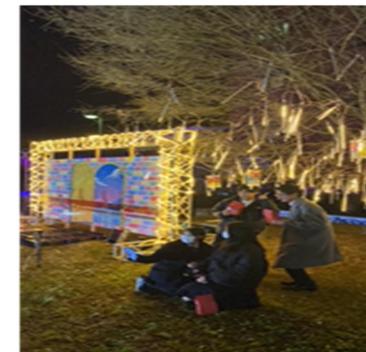
総事業費：

（千円）	R2	R3	R4
事業費 （補助対象）	-	699	1,432
補助金	-	460	932

＜モルック大会＞



＜イルミネーション点灯式＞



事業の成果・効果

- SNSの効果で、家族で写真を取りに来る方々が増えた。
- 学生との企画を実行に移すことができた。

今後の展開等

○新しいイベントの企画やモルック大会の企画、イルミネーションの企画もバージョンアップしていきたい。

(14)しらかわにぎわいプロジェクト

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会(白河市)

事業の目的

With コロナを前提とした新たな旅行方法・観光メニューの提案として、観光客の回遊促進と地域の魅力向上を目的とし、『密』を避けつつ観光を楽しめるデジタルスタンプラリーを開催する。また、スタンプラリーの景品としては、県内の六次化商品をはじめ、県内の特産品を中心に集め、参加者にプレゼントすることで地場産品の消費拡大につなげる。

事業の内容

事業内容：

- 「デジタルスタンプラリー」の開催
 - ・白河市内（旧白河、大信、東、表郷）の観光名所20カ所に設置
 - ・R4.6~R4.7、R4.10~R4.12の2回、夏と秋の観光シーズンに実施

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	1,024	1,141
補助金	-	670	750

＜スタンプラリー取得画面、現地に設置したスタンプ＞



＜景品の特産品＞



事業の成果・効果

- 近くに住んでいると当たり前だと持っていたことが、少し離れた人からは新しい発見になる。参加者からもこんな場所が白河にあったのか!と驚きのご意見があった。

今後の展開等

- SNSを活用し、スタンプラリー設置地点を対象としたフォトコンテストを開催する。
- 訪れたことが無い方にもその場所の魅力をPRできる仕組みづくりを構築していきたい。

(15)ふくしまの城・城址巡り「白河小峰城」

一般枠

継続2年目

事業の目的

城・城址、歴史、文化を基軸に、オンラインイベントを開催し、県南エリアへの関心を高める。併せて、県南城下町交流事業（各城下町の伝統演武・演舞等披露）を開催し、交流人口の拡大を図る。

事業の内容

事業内容：

- オンラインによる発信事業（お城インスタグラマー：KAORI氏）
- 記念講演会の実施（城郭考古学者：千田嘉博氏）
- 県南エリアの歴史・史跡を巡る動画と歴史マップの作成

総事業費：

(千円)	R2	R3 (相双地区で実施)	R4
事業費（補助対象）	-	2,293	2,092
補助金	-	1,190	1,190

<講演会の様子>



<ユーチューブ動画撮影の様子>



事業の成果・効果

- 今回 HP 読者に白河小峰城のグッツプレゼント企画を実施したが（30名様）、100通を超える応募があり、県外からの申し込みも多数あった。
- HP をいかに見て頂けるかが課題だったが、今後のヒントになる契機になったと思う。

今後の展開等

- 今回は、開催地を中心としつつも周辺エリアといった面で情報発信出来た事は良かった。
- 城下町でもある棚倉町でのユーチューブ動画制作と配信を通して、棚倉町教育委員会様との良好な協力関係が築けました。

（16）NANKO WORK PROJECT-渋沢栄一×松平定信 南湖を彩る系譜-

一般枠

継続3年目

【実施団体名】 南湖公園魅力発信事業実行委員会（白河市）

事業の目的

南湖神社にゆかりのある渋沢栄一が NHK 大河ドラマの主人公や新紙幣の肖像画に採用されること、さらには、国道 294 号バイパス整備により南湖公園周辺の周遊性が高まることを契機に、市内外へ南湖公園の魅力発信と誘客促進を目的に、地域住民と連携したイベントや講演会等を実施する。

事業の内容

事業内容：

- 「南湖十七景」や公園周辺の遊歩道を巡るウォーキングイベント
- 南湖公園竹灯籠ライトアップ
- 竹灯籠作り教室
- パンフレット作成やマスコミ等を活用した南湖公園のPR

総事業費：

（千円）	R2	R3	R4
事業費 （補助対象）	3,418	3,804	3,077
補助金	2,228	2,536	2,051

＜ 南湖公園竹灯籠ライトアップ ＞



＜ウォーキングイベントにて、なすびさんと歩く参加者＞



事業の成果・効果

- 南湖自治会へも竹灯籠の関心が広がり、「南湖公園竹灯籠ライトアップ」では会場に隣接する芝生広場に自主制作した竹灯籠を展示し、イベントを盛り上げた。
- 自治会で補助金等を活用し、竹灯籠制作を継続しようとの動きがみられ、地域に根付いた活動となった。

今後の展開等

- 南湖公園でのイベント開催時等に、ウォーキングや竹灯籠作り教室を継続して行ってきたい。
- 令和6年度の新一万円札発行に向けて、引き続き、渋沢と定信の関係を発信する。

(17)ドライブスルー白河マルシェ

一般枠

継続3年目

【実施団体名】 公益財団法人白河観光物産協会(白河市)

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ事業者を応援するため、地域生産者とともに協力し、選りすぐりの食材を消費者に安心・安全な環境で提供する。また、食材が売れにくくなっている状況を打破すべく、地元食材の魅力を最大限に活用したオリジナルメニューを学生と協同で考案し販売することで、地産地消の促進を図り地域活性化に繋げていく。

事業の内容

事業内容：

- ドライブスルー白河マルシェ
 - ・選りすぐりの食材を、新しい生活様式を踏まえたドライブスルー形式で販売した。
- 地域活性化事業(料理コンテスト)
 - ・SNSを活用して開催し、いいね数の一番多い作品を最優秀賞として、当事者からレシピの提供・紹介を受けた。

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	538	543	538
補助金	358	356	354

< ドライブスルー白河マルシェ >



< 地域活性化事業（料理コンテスト最優秀賞） >



事業の成果・効果

- 福島県南地方各市町村の事業者と連携を図り、それぞれの地域の特色を活かしたオリジナルセットを販売し、当日も予約分が完売した。
- イベント当日は白河実業高校生にもイベントに参加いただき、当協会職員とともに販売商品の受け渡し業務を行った。当日はテレビ局が取材に訪れ、内容は東北6県版のニュースで放送された。

今後の展開等

- ドライブスルー白河マルシェを引き続き実施し、県南地域産食材の魅力発信を継続していきたい。

（18）白河”オンライン”だるま市開催事業

一般枠

継続3年目

【実施団体名】 白河だるま事業協同組合(白河市)

事業の目的

白河だるま市の開催が危ぶまれている中、実際に現地に足を運ばずだるま市を楽しむことができるコンテンツをオンラインで提供し、白河だるま市の認知拡大・持続的な発展をめざす。

事業の内容

事業内容：

- 白河”オンライン”だるま市の開催
 - ・3年ぶりに白河だるま市が開催の盛り上げの一助として、白河ミニだるま市の同時開催とした。
 - ・ダルライザーとMCによるだるま市会場の紹介、だるまランド会場内撮影など2時間に及ぶライブ配信および福島テレビの「浜ちゃんぽ」と連動して白河だるま市の紹介などを行なった。

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	8,310	2,970	2,961
補助金	5,000	1,930	1,875

＜ 白河ミニだるま市の開催 ＞



＜ 白河オンラインだるま市の配信の様子 ＞



事業の成果・効果

- ライブ配信では、前回の反省を活かしチャットで質問を受付、回答を行った。
- リアルと連動させるために当日会場内にいるダルライザーの写真を撮影し「#ダルライザーを追い」を投稿した方にダルライザーだるまをプレゼントするなどのキャンペーンを実施することで、リアルとネットの融合を図る取り組みをした。

今後の展開等

- 白河だるま市のさらなる集客に繋がるために、エアー遊具やコンテンツとしてのだるまを活用したイベントを行なっていく。

(19)翔んで 白河の関

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 青空バル実行委員会（西郷村）

事業の目的

福島県の南の玄関口に位置する西郷村において、福島県の日本酒をはじめとする食文化や温泉、自然など、多くの観光資源を広く PR し、新たな人の流れを創出することを目的に、栃木県県北地域の関係事業者を巻き込んだイベントや交流会を開催する。

事業の内容

事業内容：

- 青空バル（3年ぶりにリアルでのイベント）
- ・福島県内の酒蔵 10 社と、栃木県北の酒蔵 2 社が参加
- ・県内の飲食店やハンドメイド作家さんも多く参加
- 青空バル後夜祭（オンライン開催）
- ・青空バルの来場者と蔵元との交流会をオンラインで開催

総事業費：

（千円）	R2	R3	R4
事業費 （補助対象）	827	660	1,018
補助金	513	287	663

＜蔵元さんとの交流＞



＜地酒の量り売り＞



事業の成果・効果

- 後に開催したオンライン青空バル後夜祭や SNS 等で「こんなに美味しいなら 1 合瓶の量り売りじゃなくて 4 合瓶で買えばよかった」「美味しかったので、贈答用に購入しました」などの声があった。

今後の展開等

- 福島県に転入してきた女性をサポートする団体 tenten との共同で、地元の方と転入者や企業をつなげるようなイベントへ発展させたい。

(20)地元プロゴルファーによる「ふくしまゴルフプロジェクト」応援・支援事業

一般枠

【実施団体名】 福島県プロゴルフ会大会運営事務局(西郷村)

継続3年目

事業の目的

東北唯一の男子プロゴルフツアーが開催されるとともに、多くのゴルフ場を有する県南地方で、ゴルフ熱を高め、ゴルフファンを増やすことを目的に、地域のプロゴルファーによる、ジュニアを含むアマチュアゴルファーとの交流事業を行う。

事業の内容

事業内容：

- ジュニアゴルフ合宿・・・ジュニアゴルファーを対象とした合宿
- ジュニアゴルフ大会・・・県南地域のゴルフ場を中心にジュニア大会
- ジュニアレッスン会・・・プロゴルファーとラウンドや練習を実施
- プロアマゴルフ大会・・・プロとアマチュアによる大会を開催

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費	4,314	4,498	4,335
(補助対象)	(3,017)	(3,150)	(3,564)
補助金	1,463	1,593	1,745

< ジュニアゴルフ合宿 >



< FPGS ジュニアレッスン会 >



事業の成果・効果

○過去2年間の取組みにより、住友ゴム工業様からの支援が実現し、令和5年には福島県ゴルフ連盟様からの支援も予定されている。

今後の展開等

○企業・団体からの支援の輪を広げて行けるよう、内容を充実させより良いイベントの開催に尽力していきたい。

（21）若者たちと考える。6次化商品の開発・PR 販売事業

一般枠

継続3年目

【実施団体名】 矢吹町バンド連合会(矢吹町)

事業の目的

高校や短期大学がある矢吹町で、若者たちが自分たちのアイデアを活用した6次化商品の開発及び地域の食材や伝統食のPRを行うことで、若者たちが地域に興味を持ち、「自分たちの町を知り・考え・創る」場を創出することを目指す。

事業の内容

事業内容：

- キッチンカーによる地域のメニューPR・・・ふくしま県南地域の特産品を使ったメニューをキッチンカーにてPR販売を行う。
- 新しい農産物から6次化商品の開発・・・学生と共に新しい農産物の特産品を考え、それを使って商品開発販売を行う。
- 福島県南地域の特産品を使った料理を提供するイベントの開催・・・学生考案のメニューを提供するディナーイベントを開催する。

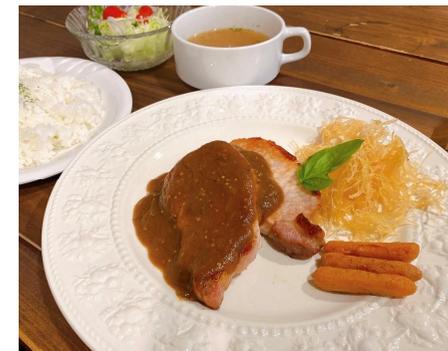
総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	1,009	1,320	1,482
補助金	651	797	830

＜キッチンカー＞



＜学生考案のメニュー＞



事業の成果・効果

- 福島県出身の学生たちを中心としたイベントの開催
- メニューの考案・提供をする事ができた。

今後の展開等

- キッチンカーの機動力をさらに生かし、県外でも県南地域の魅力を食べ物を通じてPRしていきたい。
- 6次化商品開発についても、県南地域の特産品PRの底上げを行っていきたい。

(22)ジュニアゴルフ育成による大信地域活性化事業

一般枠

新規

【実施団体名】大信をゴルフで元気にする会(白河市)

事業の目的

過疎地域に指定されている大信地域において人口減少に歯止めをかけるため、地元や他地域の小学生を対象にゴルフ合宿や大会を開催することで、地元の財産を再確認し、関係人口からの定住促進、人口流出の抑制につなげていく。

事業の内容

事業内容：

- 「スナッグゴルフ」事業
- スナッグゴルフ全国大会視察
- ゴルフ体験事業
- 宿泊ゴルフ体験事業
- 地域の小学生によるゴルフ場の見学散策事業

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	802
補助金	-	-	520

<プロゴルファーによるゴルフレッスン>



<「スナッグゴルフ体験」事業>



事業の成果・効果

- 「スナッグゴルフ体験」事業を開催、ゴルフ経験がない子供ばかりであることから、大変楽しい事業となった。最後に個別得点により、表彰をした。
- 11月にゴルフの経験のない地域の小学生を、ゴルフ場の見学を行い、その後にゴルフ場のクイズを行った。ゴルフ場を見ることが初めて子供ばかりだったので大変喜ぶ事業となり、子供達の記憶に残る事業になった。

今後の展開等

- 地域外に周知する事を検討する。
- 「スナッグゴルフ」大信チーム作成し、全国スナッグゴルフ大会に出場にする。
- 地域の子供達によるゴルフ場の見学を行う。

(23) まちの事業者魅力発信事業

一般枠

新規

【実施団体名】 たなぐら商工業魅力発信実行委員会(棚倉町)

事業の目的

人口減少や少子高齢化で雇用の確保が困難となっている現状を打破するため、町の魅力ある企業を「発信する・知ってもらう・体験してもらう・触れてもらう」機会を創出することで、地元企業の発展による移住者の確保や雇用の確保、継続的な地域の活性化につなげていく。

事業の内容

事業内容：

- 事業者体験・魅力発信事業(4/10 たなぐら sakura マルシェ)の開催
- 自社PRのためのセミナー(11/24 求人力向上セミナー)の開催

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	5,776
補助金	-	-	3,800

<業者ブース>



<バギー体験>



事業の成果・効果

- 「たなぐら sakura マルシェ」は約 4,000 人の来場者となり、当初予定していた 2,000 人の約 2 倍の来場となったことで、多くの方に棚倉町内の事業者を知ってもらう機会を創出することができた。
- 事業者の出展ブースへ来場した高校生が、後に企業見学へとつながったケースもあり、雇用創出への効果があった。

今後の展開等

- 参加事業者のイベント時のブース映像や実際の社内の動画を作成し、Youtube や企業のHPでの動画配信により、イベント時の様子などをいつでも知ってもらえるようにすることで、企業のPRを図っていきたい。

(24) Fukushima348(みよや)まあるい旅奥州玄関口編

一般枠

継続3年目

【実施団体名】 一般社団法人ニワトコ(棚倉町)

事業の目的

インバウンドの海外旅行者や経済的に余裕のある国内歴史愛好家等をターゲットに、県南地方への観光誘客を図るため、「県南地域まるごとテーマパーク」をコンセプトに、上野駅を起点とした、水戸・棚倉・新白河を巡る全長348kmの旅を提案するための事業を展開する。

事業の内容

事業内容：

- “十六ささげ”プロジェクトのストーリー原稿化
- 首都圏と地元メディアに向けたPR作戦
- スイーツ好きのための古民家1日レストラン「プチボヌール」開催

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	6,521	5,905	5,532
補助金	3,750	3,500	2,706

<プチボヌール>



<パフェカシュカシュ>



事業の成果・効果

- 古民家そめやで誕生した地場産のフランボアーズ入り「ル・ガトー・デ・ナンテ」の Hanako 「2023年、スイーツ流行予測。」誌の記事がきっかけで、パフェ「カシュカシュ」(和名/かくれんぼ)も、六本木「トラットリア ロッソ」に期間限定で進出した。

今後の展開等

- 児童や学生の郷土愛を借りながら、品性ある“大人の観光”を目指していきたい。

(25)横浜 Heart 矢祭～つなぐ・つながる・つながろう～

一般枠

新規

【実施団体名】 横浜 Heart 矢祭プロジェクト実行委員会(矢祭町)

事業の目的

今まで矢祭町と横浜市で続けてきた交流を起点に、単発の交流やイベントではない継続的な人と地域のつながりを作るため、定期的な産直市の開催や矢祭町での体験型事業を実施し、地域住民とのふれあいにより交流人口の拡大や地域産業の活性につなげる。

事業の内容

事業内容：

- 定期便&産直市（人とモノが行きかう定期便）
- 人的交流事業
- 矢祭町のPR動画制作

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	5,688
補助金	-	-	3,792

<プロジェクトホームページ>



<活動の様子>



事業の成果・効果

- コロナ過ではあるが感染対策を行った中、矢祭町で100人規模のイベントを開催できた。
- 横浜からも多くの参加者があり、矢祭の魅力を最大に楽しむことが出来たのは地元の協力とサポートがあったから。
- 交流の回数を重ねることでより地域での協力を得られるようになり、事業のPRも出来たことで耕作放棄果樹園などの再生事業の依頼があった。

今後の展開等

- 生産者さんとのつながりを作ってマルシェでの販売規模を拡大していく。
- 交流の中で引きこもり等の支援が受けられない県南地域の実態も見てきたので、新しい事業の形を整えていく。

(26) 矢祭町の「和ハーブ」の認知活動とブランド化による地域活性化活動

一般枠

新規

【実施団体名】 矢祭和ハーブ部会(矢祭町)

事業の目的

高齢化する農山村における新たな雇用の創出や地域資源を活用した産業振興を図るため、矢祭町に多く自生している「和ハーブ」に焦点を当て、認知活動やブランド化を実施する。

事業の内容

事業内容：

- 和ハーブ講演会の開催
- 自生和ハーブの生育調査
- 委員会(和ハーブ及び販促ツール作製勉強会)の開催
- 「矢祭和ハーブブック」(矢祭和ハーブ認知ツール)の発行
- 専用 Facebook ページ作成

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	1,974
補助金	-	-	1,315

＜散策体験会＞



＜矢祭和ハーブブック＞



事業の成果・効果

- 講演会等を通じて「和ハーブ」の認知が進み、特に女性住民の方たちが、何らかの形で和ハーブを使った商品開発に携わろうという意識を持っていただいた。
- 活動については NHK や新聞などでも大きく取り上げられ、「和ハーブ」の認知度が上がった。女性住民からも和ハーブを使った商品開発に興味を持っていただいた。

今後の展開等

- 加工品を製品化しブランド化を図る。矢祭で収穫できる「カキドオシ」「ユズ」などの和ハーブを乾燥させブレンドして独自性と付加価値の高い「和ハーブティ」を企画し製品化を進めたい。

(27) 埴町観光協会オンライン魅力発信事業

一般枠

新規

【実施団体名】 一般社団法人埴町観光協会(埴町)

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響による社会変容に対応するため、「埴町観光協会公式オンラインショップ」を開設し、埴町と町産品をインターネット上で広くPRする。商品等のやりとりを通じて関係人口の増加を図るほか、SNSを活用し、オンラインショップや町の観光情報を発信し、観光誘客を行う。

事業の内容

事業内容：

- 埴町観光協会公式オンラインショップの開設運営
- SNSを活用したPR

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	1,021(986)
補助金	-	-	656

<埴町観光協会公式オンラインショップ>



<埴町観光協会のTikTokアカウント>



事業の成果・効果

- 「TikTok」のフォロワーさんから「おすすめ」投稿に表示されたとコメントがあり、PRの効果を実感できた。

今後の展開等

○WEBショップのラインナップやページの内容の品質向上が必要だと感じる。ラインナップの統一性、WEBショップに適した商品選定を見直し、購入意欲を高める魅力的なショップページを作成していきたい。

(28) 町内空き家を活用した多世代の場づくり

一般枠

新規

【実施団体名】 一般社団法人アップサイクル（埴町）

事業の目的

約 400 件もの空き家があるという町内の課題を解決するため、空き家を活用したイベントやワークショップを開催し、空き家活用の意識を浸透させるとともに、町内外の人たちの交流の場をすることで、まちの賑わい創出へと繋げる。

＜空き家での居住体験＞



事業の内容

事業内容：

- 空き家を拠点とした埴町でのイベント開催
町内外の若い世代向けに、観光だけでなく、町の食材や体験をメインとしたワークショップを取り入れながら町内の新たな魅力を知ってもらう機会づくりをおこなった。

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	960
補助金	-	-	628

＜世代間交流＞



事業の成果・効果

- イベントで町内観光や道の駅で埴町の農産物について知ってもらう機会ができた。
- 道の駅での農作物の購入や、町での農業について興味を持っていただけの方が多く、地域の今後の農作物としての価値の認識や購買面へ良い影響があった。

今後の展開等

- 具体的に町内での生活(衣食住や病院への通院・日常での買い物等)のイメージが着くようなコンテンツを盛り込むことにより、関係人口の創出と併せて地方への移住希望がある層へもアプローチをしたい。

(29)魅力発見！はなわ選べる体験型宿泊ツアー

一般枠

新規

【実施団体名】 埴町観光誘客活性化実行委員会(埴町)

事業の目的

関東圏・県内の他地域からの集客強化を図り、サイクリングや町の特産品であるダリアなどの地域資源を活用したツアーを実施し、埴町の良さを知ってもらうことで、観光の活性化だけでなく、交流人口や関係人口の拡大を図る。

事業の内容

事業内容：

○体験型ツアーの開催（計4回）
9月～10月に1泊2日で、農家さんのご自宅でピザづくり体験やダリア摘みやダリア染めなど改めて埴町の魅力を知ってもらうようなツアーを実施した。

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	5,361(4,919)
補助金	-	-	3,279

<ピザづくり体験>



<ダリア摘み体験>



事業の成果・効果

○1泊2日のツアーの参加者から、地域の方との交流・観光協会の方々との交流を体験したことで、「個人的にもう一度来たい」「来年もツアーに参加してもっと深く知りたいなど」の声が多くあった。

今後の展開等

○サイクリングやダリアなど地域資源を活用したツアーを行い、将来的には東白川郡にツアーの幅を広め、県内外からインバウンド観光客も取り込めるようにしていきたい。

(30)「学習障害の子どもたちの野原君キャンプ」人にやさしい村づくり事業

一般枠

新規

【実施団体名】 あぶくまエヌエスネット（鮫川村）

事業の目的

鮫川村の豊かな自然や農村景観の良い環境を活かし、学習障害のハンディを抱える子どもたちが共同生活及び体験学習のできるキャンプを実施することで、参加者の自立的な成長を促すだけでなく、交流の輪を広げていく。

事業の内容

事業内容：

- 共同宿泊プログラムの実施
軽度の学習障がいの子どもたちを対象にした宿泊教育プログラムを10月の3連休に2泊3日で実施した。

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	564
補助金	-	-	410

＜食育プログラム「石窯ピザ焼き」＞



＜最終日「お楽しみ会」＞



事業の成果・効果

○活動最終日に「お楽しみ会」を実施した。参加した子が、みんなの前で自分にできる得意な事を披露した。自己表現が苦手な子たちが挑む姿もかっこよかった。

今後の展開等

○過疎地をとにかく元気づける事業を今後も活発に展開したい。過疎地でもまだまだ可能性があることを証明していきたい。

(31)持続可能な地域づくり推進事業

市町村枠

新規

【実施団体名】 西郷村(西郷村)

事業の目的

持続的な地域づくりを行うために、農業と防災の観点からアプローチを行う。農業については地域と大学が連携し持続可能な農産物づくりのための施策を実施し、防災については地域の住民の防災意識を高める取組を行うことで安全な地域づくりをめざす。

事業の内容

事業内容：

- 持続可能な農産物づくりのための産品開発
 - ・スマート農業の推進のための村内栽培ほ場の調査・研究の取り組み
 - ・地域特産物の外部的評価及び6次化商品の考案 等
- 安心安全な生活づくりのための防災意識の啓発
 - ・防災意識向上の勉強会の開催
 - ・戸別訪問及びチラシ配布による防災意識の確認・啓発活動

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	9,020
補助金	-	-	6,763

＜福島大学生による地域農業現場視察＞



＜災害情報伝達システムアプリへの登録の様子＞



事業の成果・効果

- スマート農業のモデル化により、持続可能な農産物づくりの取り組み推進が図られた。また、店舗分析や地域産物の見直しから、6次化商品の開発により、地域農業の活性化が図られた。
- 地域防災情報等の配信により防災意識を向上し、安心安全な生活づくりに繋がられた。

今後の展開等

- 産品開発に関しては、積極的な情報発信を行い、まず知ってもらう活動を強化していきたい。
- 防災意識の啓発については、今後は人が集まる商業施設等での開催を検討したい。

(32) 棚倉町魅力向上事業

市町村枠

新規

【実施団体名】 棚倉町(棚倉町)

事業の目的

新型コロナウイルスの影響により減少した観光誘客の回復を図るため、棚倉町の観光力をさらに磨き上げ、魅力や情報を発信することで、交流人口や関係人口の増加につなげるとともに、地域産業の持っている魅力を県内外に示し、さらなる地域活性化を目指す。

事業の内容

事業内容：

- 町内周遊スタンプラリー事業
- のれんの町並づくり事業
 - ・棚倉町をイメージした「のれん」を制作し、商店街の軒先に掲げた。
- 棚倉町内撮影事業/メディアを活用した情報発信事業
 - ・プロのフォトグラファーに質の高い観光 PR 素材の制作を依頼し、それらを活用して各種メディア、SNS を利用して県内外に情報発信を実施

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	7,664
補助金	-	-	5,748

<町内周遊スタンプラリー>



<「のれんの町並づくり事業」により制作したのれん>



事業の成果・効果

- 棚倉町内撮影事業により質の高い観光素材を制作することができ、それら観光素材を活用して効果的にスタンプラリーを含めた棚倉町の観光PRを展開することができた。
- スタンプラリーの効果や情報発信事業によるPRにより、事業所によっては過去最高の売り上げになったとの話もあった等、観光地や事業所でお客さんが増え、地元産業の活性化、交流人口の増加に繋げることができた。

今後の展開等

- スタンプラリーと連動したイベントを実施して両事業を通して効果的に交流人口の増加、地域活性化を図っていきたい。

(33) 自転車のある風景ーサイクリストと歩行者が共生する町はなわー

市町村枠

新規

【実施団体名】 埴町(埴町)

事業の目的

町外、県外からサイクリストが集まりつつあるなか、サイクリスト受入体制をつくるために地域住民が自転車に対する理解を深化させ、かつ地域住民が主体的にサイクリングイベントに参画する事業を行う。

事業の内容

事業内容：

- 地域住民が主体となったサイクリングイベントの開催
 - ・春の久慈川サイクリング、ポタリングはなわ 2022、ツール・ド・はなわ
- 自転車マナー啓蒙活動
 - ・自転車教室
 - ・自転車ガイドブックの配布
- 自転車ウェルネスプログラムの開発

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	5,100
補助金	-	-	3,825

<第5回ツール・ド・はなわ>



<ポタリングはなわ 2022>



事業の成果・効果

- 埴町のサイクリング環境が大変整備され走行しやすい状況である点が再認識され、イベントでのおもてなしによりリピーター獲得につながり、関係人口が増大した。
- ハード及びソフト両面からサイクリストを受け入れる体制を構築したことや、各種イベント開催実績も相まって、埴町のサイクリング環境が対外的に認知されるようになってきた。また地域住民もサイクリング目的の来町者や店舗利用者の増加により、施策に対する理解度が高まってきた。

今後の展開等

- 過疎地域の諸課題である人口減少や地域経済活性化に寄与できるような自転車を活用した取り組みを行いつつ、サイクリストが来町しやすい環境を整えたい。

(34)定住自立圏 ご縁から移住へプロジェクト

市町村枠

新規

【実施団体名】 「ふれあいの場」創出事業実行委員会(県南9市町村)

事業の目的

人口流出により県内の人口減少が問題となる中、県外に転出した女性や県外女性をターゲットとし、県南地域の魅力を発信する。
結婚という観点から県内への移住を促進する。

事業の内容

事業内容：

- 独身男性/女性を対象とした、県外から人を呼び込むためのイベント開催
 - ・オンラインイベント 4回
 - ・リアル交流イベント 1回
- 「世話やき人」制度を活用した移住支援の実施

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	5,237
補助金	-	-	3,807

<リアル交流イベントの様子①>



<リアル交流イベントの様子②>



事業の成果・効果

- オンラインイベントでは県南9市町村の銘菓を事前に送り、当日に感想を話しながら食した。どの銘菓も高評価を得られ、購買につながることを期待している。
- 体験ツアー及び結婚希望者向けセミナーを対面形式で開催することにより、県南地区に足を運び、目で見て舌で味わう機会を提供することができた。これを機に来訪者が増えることを期待している。

今後の展開等

- 県外の方へのイベント情報を届けるために、いろいろな周知方法を試したい。
- イベント自体を、魅力あるもの、「遠くからでも参加したい!」と思ってもらえるイベントを企画したい。

(35)みんなでつくる奥久慈街道ブランド魅力アップ・プロジェクト

市町村枠

新規

【実施団体名】 東白川サイクリング推進会議(東白川郡)

事業の目的

「奥久慈街道」というブランドが対外的に認知されるようになり、交流人口・関係人口が創出されつつある。そのような状況で継続的な自転車活用による地域振興を行う為に地域住民の理解を深め、地域住民主体の活動へシフトさせる施策を実施する。

事業の内容

事業内容：

- 地域住民参加型のサイクリングイベントの開催
 - ・ロゲイニングイベント※
 - ・サイクルロゲイニング体験会
- SNS等によるプロモーション事業
- 地域住民を巻き込んだ実行委員会「奥久慈街道スポーツプロジェクト」の立ち上げ

※ロゲイニングイベントとは
ウェブ上の地図をもとに、期間内にチェックポイントを回り、得点を集めるイベント

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	-	10,028
補助金	-	-	8,000

<ロゲイニングイベント>
(サイクルロゲイニング in 奥久慈 2022)



<モンベルひたちなか店でのPR>



事業の成果・効果

- ロゲイニングイベントは参加者数 248 人、体験会は参加者数 75 名となった。住み慣れた町をイベント会場とすることで、自転車が乗り物としてではなく、ホビーになることを体感いただいた。また、地域の新しい魅力を見つける効果もあった。
- 土日を中心に、来郡されるサイクリストが増加している。また、地域住民の中から自転車に乗る人々も増加している。

今後の展開等

- 奥久慈街道の地形や自然を最大限に生かし、サイクリスト上級者にターゲットを絞ったプロモーションを展開する。
- 10,000 名の来郡よりも 100 名のロイヤルカスタマーを獲得したい。

(36)しらかわ産業活性化・復興支援事業

市町村枠

継続2年目

【実施団体名】 白河市(白河市)

事業の目的

コロナ禍において首都圏から地方への流れが加速している中で、雇用の受け皿の創出や販路拡大等の事業の支援を戦略的に展開し、UIJ ターンや移住・二地域居住をあらゆる角度から総合的に推し進める。

事業の内容

事業内容：

- UIJ ターン就活促進事業・・・LINE を活用し地元企業や補助金等の情報発信等を実施
- 創業者支援事業・・・創業に必要な知識を習得するための「創業塾」を開催
- 農産物ブランド白河しろもの事業・・・認知度向上や消費促進に向け、認知度調査や投票イベント、テレビ番組等の制作によるPRの実施
- 農業経営アカデミー事業・・・農業経営についての講義を開催
- 空き家対策事業・・・空き家等対策に関する意識啓発チラシの配付やセミナーを開催

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	12,757	12,737
補助金	-	9,155	9,142

くらくりイベント（ビジネスマナー講座）>



<白河しろもの事業「白金認証証書授与」の様子>



事業の成果・効果

- 「創業塾」をはじめとした創業支援により多くの方が開業し、中心市街地の活性化等に貢献した。
- 「農産物ブランド白河しろもの」事業では、市民参加型の事業としたことで、市内の農畜産物とその加工品を知る機会を創出し、販売促進に寄与することができた。
- Oomocha フリマ事業では、これまで中心市街地を訪れたことのない子育て世代がまちなかを訪れる機会を創り出したことで地域の商店街のPRや利用促進につながった。

今後の展開等

- 首都圏からの人材確保により、企業の手不足解消に努め、更なる創業を推進する。
- 白金認証となった食品をトップランナーとして、各商品の磨き上げやPRに繋げ、ブランドづくりを一層推進していく。

(37)美しい村づくりステージアップ事業

市町村枠

継続2年目

【実施団体名】 鮫川村(鮫川村)

事業の目的

里山としての景観維持と魅力を発信するため、村内の美しいもの（景観、美化意識、共助、おいしいもの、星空そして人）を村民が認識し、維持、PRできる体制（人）を構築し、幸福度の高い村づくりを図り、地域資源を活かした人材育成と観光振興・復興につなげていく。

事業の内容

事業内容：

- 村の魅力発掘教室・・・村と繋がりのある外部講師から村の魅力を学ぶ教室を開催
- 美味満喫ツアー事業・・・首都圏住民を対象とした村の魅力を満喫するツアーを開催
- 四季の風景づくり事業・・・シルバー人材の力で地域の景観整備活動を行う
- 村の美景撮影教室・・・地域の風景を素材とした写真教室を開催
- 村の人材づくり講座・・・未来の村の担い手を育成するためのセミナーや講座等を開催

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	9,352	11,526
補助金	-	7,481	9,219

<村の美景撮影教室>



<村の人材づくり講座>



事業の成果・効果

- 首都圏住民を対象としたツアーを開催し、魅力の一つでもある食と農村体験を通し、魅力を発信し、村の良さをアピールする機会が図れ、地域資源を活かした景観づくりと観光、さらには新たな魅力づくりで、地域の復興を図ることができた。
- 村の人材づくり講座においては、村民が主体となって村や自分自身の将来を考えるきっかけを作ることができた。

今後の展開等

- 里山景観の維持につながる取組みを行いながら関係人口の増加を図りたい。
- 村の人材づくり講座では、担い手自身が楽しみながら持続可能な形で、地域力の一助になることをより多くの村民に気づいてもらえるようにしたい。

(38)アジアインバウンド誘致事業

市町村枠

継続3年目

【実施団体名】 ふくしま県南観光推進協議会(県南9市町村)

事業の目的

新型コロナウイルスの影響により、観光業をはじめ各業界が大きな打撃を受けている。県南地域としても自然や体験型観光資源のブラッシュアップを行い、誘客への情報発信に努める。

事業の内容

事業内容：

- 在日台湾人との交流及び台湾夜市の開催
- モニターツアー事業の開催
- 台湾の指人形劇団によるワークショップの開催
- インバウンド勉強会の開催

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	3,905	4,170	4,501
補助金	3,123	3,335	3,600

<しらかわ台湾夜市 in 楽蔵>



<台湾の指人形劇団によるワークショップ>



事業の成果・効果

- 「しらかわ台湾夜市 in 楽蔵」は2,000人の来場者を集客し、台湾の食文化に触れる機会を創出できた。インバウンド誘客を推進する上で受け入れ側となる県南地域内での外国文化の理解促進に効果があったと考えられる。
- モニターツアーにおいては、参加したインフルエンサーにより撮影・編集された動画がYouTubeで8,000回以上視聴されている。

今後の展開等

- 「しらかわ台湾夜市 in 楽蔵」を県南地域を代表するイベントとして継続開催するとともに、台湾での旅行博に出展しインバウンド増加に向けて誘客促進や本地域の知名度向上を図る。

(39)にしこう健幸づくり事業

市町村枠(旧健康枠)

継続2年目

【実施団体名】 西郷村(西郷村)

事業の目的

普段運動する習慣がない高齢者に対して、運動を始める契機や健康に対する意識づけをし、生活習慣の改善や介護予防・健康寿命の延伸に繋げ、高齢者が自助と互助で長く活躍できる地域社会の推進を図る。また、世代を超えた交流を図り、地域の催しへの参加促進にもつなげ、健康づくりによる地域の発展を推進する。

事業の内容

事業内容：

- シニア健康教室
村内で自主的に開催されている運動教室へ、健康運動指導士等の講師派遣を実施。
- 介護予防サポーター養成講座
村内で自主的に開催されている運動教室の運営補助を行うボランティアの育成講座
- お元気運動教室／いきいき教室
65歳以上の村民を対象に、参加者の健康状態に応じて筋力アップの運動等の実施。

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	5,932	6,036
補助金	-	4,381	4,492

<いきいき教室参加者>



<シニア健康教室>



事業の成果・効果

- 普段運動する習慣がない高齢者等に対して、運動を始める契機づくりや健康に対する意識づけをし、生活習慣の改善や、介護予防・健康寿命の延伸に繋げ、高齢者が自助と互助の意識を持ち、長く活躍できる地域社会の推進を図れた。
- 運動機能の向上及び地域のコミュニケーションの場としての展開を通して、健康づくりによる地域の発展に繋げることができた。

今後の展開等

- 介護予防サポーターの活用を図りながら、他事業との連携・活用を通して多面的なアプローチによる幅広い村民の方が携われる仕組みづくりを目指す。

(40)お年寄り健康・生きがいつくり推進事業

市町村枠(旧健康枠)

継続2年目

【実施団体名】 矢吹町(矢吹町)

事業の目的

地域の豊かな人間関係、お互いに支えあい、助け合う関係を作り出す継続的な地域活動としての交流の場づくりとして、高齢者のいきがいつくりの発展的取り組みを実施し、元気な地域づくり、仲間づくり、生きがいつくり、元気づくり、健康づくりにより、心身の健康維持増進を図る。

事業の内容

事業内容：

- ことぶき大学
概ね50歳以上の方を対象に受講生を募り（登録者数250名）、毎月1回本講座、毎月1~2回分科部の活動を実施
- ふれあい*いきいきサロン
町内21地区の集会所等で月1回サロンの開催、趣味サロンの開催、健康に関する講習会や勉強会を開催

総事業費：

(千円)	R2	R3	R4
事業費 (補助対象)	-	6,128	5,853
補助金	-	4,484	4,287

＜ことぶき大学発表会「3B体操」＞



＜いきいきサロン（新聞エコバッグ作り）＞



事業の成果・効果

- 貴重な生きがいつくり・交流の場となり、多くの方々が積極的に参加した。
 - ・ことぶき大学：3,654人（本講座1,157人・分科部2,497人）
 - ・いきいきサロン：2,811人（地域サロン1,716人・趣味サロン964人・民話祭り131人）
- 参加人数が少ない地区同士で合同サロンを開催し、地域の垣根を越えて新たな交流を深めることが出来た。

今後の展開等

- コロナにより中止した館外研修を再開させ、外で活動する機会を充実させる。
- 新たな地区サロンの立ち上げと既存サロンの会員増加および運営ボランティアの増員と養成を目指し、積極的にPR活動等を行う。

（41）和紙の原料「コウゾ」の葉を活用した地域活性化事業

過疎・中山間地域活性化枠

（収益事業（スタートアップ事業））

継続 3 年目

【実施団体名】 旅の書会（鮫川村）

事業の目的

和紙の原料であるコウゾの茶葉を使用したブランド商品を開発し、ギフト商品等で販売を行うとともに、茶摘み体験等のアクティビティを実施して伝統産業である和紙と食と人をつなげて地域の活性化を図る。

事業の内容

事業内容：

- コウゾの茶葉の販売・製造
- コウゾの葉を使用した菓子、料理等の販売
- コウゾの茶摘みや和紙づくり体験 等

総事業費：

（千円）	R2 （県中地区で実施）	R3 （県中地区で実施）	R4
事業費（補助対象）	500	1,000	1,025
補助金	450	800	700

< 鮫川和紙の里を歩こう >



< コウゾの油薬で陶芸教室 >



事業の成果・効果

- 取り組みが評価された受賞（郡山市まちづくりハーモニー賞）のほか、鉄道150年の記念品にも選ばれました。福島県内堀知事による視察・懇談がありました

今後の展開等

- 和紙の里との連携を強化して、和紙漉き体験×茶摘み×コウゾ弁当×ワークショップなど、福島県への来訪者向け観光コンテンツなどの充実を強化していく。